

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		中小企業事業資金融資あっ旋事業		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	商工業の活性化		種別
	基本事業	事業者の支援		市民協働
予算科目コード		01-070102-04 単独	根拠法令・条例等	守谷市中小企業事業資金融資あっ旋条例 守谷市中小企業事業資金信用保証料補給金交付要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 市内中小企業事業者に対し、自治金融・振興金融あっ旋審査会にて審査の上、茨城県信用保証協会の保証付融資をあっ旋し、融資が実行された中小企業事業者に対して信用保証料の一部補助（上限0.8%）により支援する。
資金繰りが安定しない中小企業者に対し、県が中心となり低利で借りやすい制度を県内市町村で統一して制定した。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
経営が不安定である中小企業事業者に対し、低利でかつ保証付きの融資制度を提供し、信用保証料の一部を補助することにより、経営安定・近代化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内事業者の創業や経営高度化への支援を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
融資をあっ旋し補助を実施したことで中小企業事業者の業績拡大・回復、経営安定につながったかどうかの成果把握が課題となっている。	平成29年12月を目途に、平成26年度に融資を受けた中小企業事業者に対し書面にてアンケート調査を実施する。集計を平成29年度中に取りまとめ、成果把握を行う。
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
平成28年度に、平成25年度に融資を受けた後の経営状況を確認するため中小企業事業者に対しアンケートを実施した。今後も継続的に実施し、また、より成果を図れるようなアンケート内容の検討も同時に行っていく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	資金繰りが安定しない中小企業事業者の経営安定化・近代化を支援する。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度を取組（評価、課題への対応）
中小企業が必要とする資金の確保を支援することによって、経営安定化・近代化を促すことに努めた。 また、成果確認として制度を利用した事業者に対しアンケート調査を実施した。	融資制度の連帯保証人に関する取り扱いの変更に伴う市条例改正を行った。 また、アンケート調査に関しては、制度の成果や事業者の現状が確認できる内容に変更し、アンケート調査を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
融資件数（件）	73.00	36.00	24.00	30.00	37.00
代位弁済発生件数（件）	6.00	1.00	2.00	1.00	1.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	融資件数は減少しているが、融資を利用する事業者の経営状況によるため、明確な減少理由は把握できない。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	中小企業事業者の経営安定化・近代化の促進を図るため、引き続き事業を継続していく必要がある。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	19,187	22,425	17,282	13,460	13,460
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	6,071	8,092	8,070	8,041	8,041
	一般財源	13,116	14,333	9,212	5,419	5,419
正職員人工数（時間数）		0.00	493.00	395.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	2,021	1,620	0	0
トータルコスト		19,187	24,446	18,902	13,460	13,460

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		「ママが活躍する“まち”」プロジェクト		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	商工業の活性化		種別
	基本事業	事業者の支援		市民協働
予算科目コード		01-020107-17 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成27年度策定の「守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、市内の子育て中のママたちの活躍できる場やライフステージにあった働き場の確保に向け開始する。	ママたちが中心となり、市と連携しながら、情報誌発行、動画制作・配信、イベント開催、市オリジナルグッズの製作等の活動を通じて、市の魅力を発信していく。将来的にはママたちの才能をいかし、それぞれのワーク・ライフ・バランスを実現した創業に繋げることも視野に入れている。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
才能豊かなママたちの活躍の場を創出し、ママたちが中心となって企業や行政と協働することにより、「ママが活躍するまち」を目指す。この目指す将来像は、魅力ある付加価値となり、本市と同様に東京圏との近接性を持つ市区町村と差別化し、U・I・Jターンを促進し、守谷市地方創生総合戦略に掲げる基本方針「『住もう』まち・守谷」を実現することができる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内事業者の創業や経営高度化への支援を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
活動拠点やママカフェ運営業務を継続し、市内のママたちの安定したワーク・ライフ・バランスを促進する。	平成28年度に引き続き、活動拠点（FAMO）において（一社）もりやすマイルライフ協会に委託し、ママカフェを運営した（4月～7月）。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
プロジェクトによる雇用創出（人）	0.00	8.00	8.00	0.00	15.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	ママたちの活動実績は今後の市内のママたちの活動に大きな価値があるものとなったが、運営主体との協議の結果等を総合的に判断すると今後の事業継続は困難な状況であった。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☒ 廃止・終了	運営主体の事業継続が困難と判断し、事業を終了した。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	0	9,007	2,944	0	0
	国・県支出金	0	8,803	1,472	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	204	1,472	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	1,206.00	333.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	4,945	1,365	0	0
トータルコスト		0	13,952	4,309	0	0